

報告第1号

令和5年度事業報告並びに一般会計収支決算について

令和5年度事業報告並びに一般会計収支決算について、別紙のとおり報告いたします。

令和6年5月29日

一般社団法人びらとり観光協会

会長 山口 尚之

令和5年度 事業報告

1. 概要

令和5年度は未知のウイルスからの長いトンネルを抜け、国内経済も日経平均株価が初の4万円台とバブル期の最高値も更新し、大きく回復傾向にあります。ただし、国民の大半は景気が良くなったことの実感を受け止められていない状況にあります。

国内では全国高等学校野球選手権記念大会にて慶応義塾高校が107年ぶりの優勝や将棋の藤井聡太が前人未到の「八冠」を独占するなど明るい話題が挙がる一方で、政治家による「政治とカネの問題」が混沌とした日本経済を象徴しているように感じます。また、元旦から発生した能登半島地震による多くの被災地域の復興は未だ進んでいない状況であり、いち早い復興を心よりお祈り申し上げます。

道内では、国産先端半導体のラピダスが千歳に誘致され、冬季のニセコ地区では多くの外国人によるオーバーツーリズムなど期待と不安が入り混じる状況となっています。

町内では町最大のイベントが名称を新たに「びらとり食の祭典」として4年ぶりに復活し、すずらん観賞会、全道PKグランプリも通常開催されました。

令和5年度は町補助金や北海道観光振興機構補助を活用した観光推進事業はじめ、アドベンチャートラベルに関するプレサミット、観光庁事業、アイヌ文化体験交流事業など多くの観光ツアーに携わることが出来ました。また、都市圏を中心とした飲食イベントや近隣町との連携を図った観光PR促進事業など様々なイベントに参加することが出来、道内外への積極的なPR活動を実施することができました。

町をはじめ関係機関のご指導、ご支援並びに会員のご協力に対して感謝申し上げ、以下事業概要について報告いたします。

2. 理 事

| 役職名 | 氏 名 | 事業所名 |
|-----|---------|-------------|
| 会 長 | 山 口 尚 之 | ㈱びらとりミート |
| 副会長 | 山 田 隆 | びらとり温泉ゆから |
| 副会長 | 新 井 貞 則 | (一社) ウレシパ |
| 理 事 | 平 村 徹 郎 | 平取町建設協会 |
| 理 事 | 藤 谷 直 樹 | 平取町課長職会 |
| 監 事 | 鈴 木 仁 人 | 苫小牧信用金庫平取支店 |
| 監 事 | 佐 藤 和 三 | 平取町副町長 |

3. 各種会議等開催状況

(1) 総 会

| 開催年月日 | 会 議 名 | 議 件 |
|------------|----------------------------------|---|
| R5. 05. 30 | 令和 5 年度 (一社) びらとり観光協会 通常総会 | 1 令和 4 年度事業報告並びに 収支決算書について 2 令和 5 年度 事業計画 (案) 並びに 計収支予算書 (案) について 3 任期満了に伴う役員改選について |

(2) 理 事 会

| 開催年月日 | 会 議 名 | 議 件 |
|------------|-----------|---|
| R5. 04. 13 | 第 1 回 理事会 | 1 事業推進方針 (素案) について 2 令和 5 年度通常総会の日程について 3 令和 5 年度通常総会の 議案内容について 4 その他：観光事務所経過報告について |
| R5. 05. 30 | 第 2 回 理事会 | 1 会員加入について 2 役員改選に伴う役員選出について |
| R5. 11. 24 | 第 3 回 理事会 | 1 会員加入について 2 各種事業の進捗状況について |
| R6. 02. 27 | 第 4 回 理事会 | 1 観光協会事務所について 2 各種事業の進捗状況等 |

(3) 平取町との協議

| 開催年月日 | 会議名 | 議件 |
|------------|----------|--------------------|
| R5. 04. 04 | 町理事者との協議 | 観光協会事務所について (会長出席) |
| R6. 02. 06 | 町理事者との協議 | 観光協会事務所について (会長出席) |

(4) 各種会議

| 開催年月日 | 会議名及びイベント | 出席者 |
|------------|-------------------------------------|-------|
| R5. 04. 20 | 鵜川・沙流川 WAKUWAKU 協議会 (日高町) 打ち合わせ | 山口 |
| R4. 04. 27 | 第1回すずらん観賞会実行委員会 | 山口・斉藤 |
| R5. 05. 02 | 鵜川・沙流川 WAKUWAKU 協議会 (むかわ町) 打ち合わせ | 山口 |
| R5. 05. 12 | むかわ町 菊池参事との打ち合わせ | 山口 |
| R5. 05. 23 | 平取町商工会 総会 | 山口 |
| R5. 06. 08 | 鵜川・沙流川 WAKUWAKU 協議会 監査同行 | 山口 |
| R5. 06. 27 | 鵜川・沙流川 WAKUWAKU 協議会策定部会 オブザーバー参加 | 山口 |
| R5. 06. 30 | 一般社団法人びらとりウレシパ 総会 | 山口 |
| R5. 07. 04 | 第1回びらとり食の祭典実行委員会 | 山口・斉藤 |
| R5. 07. 05 | 優駿日高道！！オールひだか魅力発信協議会 | 山口 |
| R5. 08. 07 | チプサンケ実行委員会 | 斉藤 |
| R5. 08. 30 | 優駿日高道！！オールひだか魅力発信協議会 ワーキング会議 | 山口 |
| R5. 09. 04 | 第2回びらとり食の祭典実行委員会 | 山口・斉藤 |
| R5. 09. 13 | 第1回平取町環境審議会 | 山口会長 |
| R5. 09. 26 | 日高観光ネットワーク会議 (WEB) | 斉藤 |
| R5. 10. 23 | 鵜川・沙流川 WAKUWAKU 協議会策定部会 オブザーバー参加 | 山口 |
| R5. 10. 24 | 優駿日高道！！オールひだか魅力発信協議会 (WEB) | 山口 |
| R5. 12. 05 | 日高観光ネットワーク会議 | 斉藤 |
| R5. 12. 07 | 第2回平取町環境審議会 | 山口 |
| R5. 12. 21 | 鵜川・沙流川 WAKUWAKU 協議会 | 山口会長 |
| R5. 12. 26 | 日高観光ネットワーク会議 (WEB) | 斉藤 |

(5) 事業活動

I. 観光客誘致事業

各種イベントを通じて本町の魅力ある特産品等を町外に発信し、本町の観光振興、誘客に繋げることを目的に事業実施を行った。

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| ① そごう大宮 大北海道物産展 (埼玉県) | 5/16 (火) ~21 (日) |
| ② まるまるひがしにほん (埼玉県) | 6/20 (火) ~25 (日) |
| ③ 伝統的工芸品展示会 (札幌市) | 7/26 (水) ~27 (木) |
| ④ ホッカイドウ競馬びらとり DAY | 8/ 2 (水) |
| ⑤ イランカラプテマルシェ (二風谷) | 8/15 (火) |
| ⑥ 大ほっかいどう祭 (札幌市) | 8/ 19 (土) ~ 20 (日) |
| ⑦ イランカラプテマルシェ (二風谷) | 8/22 (火) |
| ⑧ 信金まち市 (苫小牧) | 8/26 (土) |
| ⑨ オータムフェスタ 2023 第1期 (札幌市) | 9/ 8 (金) ~12 (火) |
| ⑩ オータムフェスタ 2023 第2期 (札幌市) | 9/15 (金) ~19 (火) |
| ⑪ そごう大宮 大北海道物産展 (埼玉県) | 10/ 5 (木) ~11 (水) |
| ⑫ ツーリズム EXPO ジャパン (大阪府) | 10/26 (木) ~29 (日) |
| ⑬ オールひだか魅力発信キャンペーン (札幌市) | 11/21 (火) ~22 (水) |

II. 観光宣伝と観光客の誘致促進

平取らしい地域資源や豊富な食の魅力等について情報収集を行い、迅速な観光情報の配信を行った。

- ① 飲食&土産品パンフレット作製 3,000部
- ② 観光うちわ3,000部作製 (町外イベントでの配布)
- ③ 北海道じゃらん 9月号
- ④ 北海道新聞 テレビ欄下部
- ⑤ 北海道じゃらん 全国版
- ⑥ 協会ホームページでの情報発信及び Facebook・Twitter・Instagram での発信

III. 観光土産品と観光特産等の紹介、宣伝及び提供

「ニプタイデラックスクッキー」は順調に販売数を増やし約 1,600 箱の販売に至った。また、新商品としてびらとり酒の酒粕を使用した商品及びクラフトジンの作成に着手している。また、「山の駅ほろしり」に関しては昨年同様の売上額となった。

IV. 隣接他町との観光連携事業

日高町、むかわ町他との観光広域交流事業の推進を図った。

- | | |
|---------------------|----------------|
| ① スリーミートサミット（門別競馬場） | 6/28（水） |
| ② むかわ・平取・日高物産展（札幌市） | 7/13（木）～14（金） |
| ③ ふるさと祭り（占冠村） | 8/5（土）～6（日） |
| ④ 平取・むかわ・日高物産展（札幌市） | 11/16（木）～17（金） |
| ⑤ ひだかトロッコ祭り | 11/4（土） |
| ⑥ 美食屋の祭典（門別競馬場） | 11/9（木） |
| ⑦ ありがとうフェスティバル（日高町） | 2/25（日） |
| ⑧ 平取・むかわ・日高物産展（札幌市） | 3/13（水）～14（木） |

V. 観光諸行事の協力

すずらん観賞会協業／チプサンケ協業／びらとり食の祭典協業
全道 PK グランプリ協業／義経雪あかり協力

VI. 平取町や地域団体の地域振興事業の受託

アイヌ政策推進交付金事業では 2 事業、町委託事業では 1 事業、観光振興機構事業は 1 事業の受託をした。

1) アイヌ文化情報発信事業

①TV アニメゴールデンカムイ セタクサの宝

日 時：令和 5 年 8 月 5 日（土）～11 月 5 日（日）

参加実績：1,571 名（ゲームブック配布数）／670 名（アンケート結果）

広告カウント数：7 月 7 日投稿 ツイッター

インプレッション数 14.7 万

リンククリック数 2,078

ページアクセス数：観光協会ページ 4,474

②アイヌ伝統衣装試着体験

11/3（金）～5（日） 約 15 組 50 名

事業効果

中若年層をターゲットとして実施した「TV アニメ ゴールデンカムイ」を活用した謎解きイベントは、今回で5回目となり、今回は前回同様にブックスタイル（持ち歩き）にすることにより、本来の地域住民（事業者）との触れ合いに重点を置き実施した。観光客の移動制限もなくコロナ前のように道内各地の観光名所に人が寄せていることも影響し、ゲームブック配布数は昨年度より300枚（人）程度減少する結果となった。

アンケート集計結果では、目的の一つである30～40代の中年年齢層の参加数は335名の50%と半数を占める結果となり、10～20代を含めると81%を超えていることから昨年度の75%から6ポイントアップして、若い世代に平取町を認知してもらい、アイヌ文化を学ぶことで一つの目的は達成できている。

各事業所の入込数については昨年の新型コロナウイルスの緩和で多くの方々が旅行に出かけたことと、今年は昨年以上にグリーンシーズンでの行動制限を受けず各名所へと旅行等に足を運ぶ結果になった為、参加者数（ゲームブック配布数）は減少した。各施設への入場者数は増加した施設もあったがほぼ横ばいの結果となった。

各事業所の入込数について下記のとおり

8月5日（土）～11月5日（日） 93日間

| | 参加者 | ウレシパ | 博物館 | 工芸館 | 茂資料館 | 男の手仕事 | 女の手仕事 | トウパカンチセ |
|-----------|---------------|-------|---------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| | ゲームブック 配布数 | ゴール | スタート 謎解き ポイント | 謎解き ポイント | 謎解き ポイント | 謎解き ポイント | 謎解き ポイント | 謎解き ポイント |
| 合計 | 1,571 | 3,040 | 10,928 | 8,522 | 3,179 | 3,091 | 2,410 | 3,463 |
| 前年 同時期 | 1,828 | 3,056 | 9,925 | 8,187 | 3,263 | 1,841 | 2,259 | 3,432 |
| 比較 | 86% | 99% | 110% | 104% | 99% | 168% | 107% | 101% |

※令和5年度は熊出没で数日間閉館施設あり。

今年度は新型コロナウイルスの影響がほとんどない中での実施だったことから、北海道の各名所へと旅行する方が増え、旅行の多様化が顕著に表れる結果となった。当協会としては、アイヌ文化の発信を基に観光誘客及び滞在時間の延長による経済効果の向上を目的としていることから、コンセプトがブレることなく潜在的にいる観光客へアイヌ文化の魅力を発信することが費用対効果としても望ましい。令和6年は「映画ゴールデンカムイ」実写化によりファンのみならず、全国的に平取町に注目が集まると考えられイベントを開催するとより多くの人々が来訪すると考えられる。

2) アイヌ文化×食×回遊コンテンツの磨き上げ事業

①アイヌ民具コレクションカード事業

期 間：令和5年8月3日（土）～なくなり次第終了

参加事業所：19 事業所

カード種類：全 20 種

事業効果

二風谷アイヌ民具コレクションカード事業については、昨年同様のペースでの配布となった。予定通りの約2ヵ月程度で主要施設での配布が終了となった。配布枚数では二風谷アイヌ文化博物館が4,900枚、萱野茂二風谷アイヌ資料館で1,970枚、次いで二風谷工芸館1,000枚の配布となった。今回も開催期間（グリーンシーズン）に、「アイヌ文化の魅力発信事業」や「アイヌ文化交流促進バス事業」などの事業と共同し実施したことが、特に博物館等施設での配布が多かったことが挙げられる。

町内での配布の他、大阪で実施された「ツーリズム EXPO ジャパン」にて、SNSへフォローでプレゼント企画も実施し、取得者へのアイヌ工芸品への興味の訴求を高めることも出来た。

今回の反省点としては10枚以上の獲得は難しく、SNSでの投稿は少ないことから、本来の趣旨の二風谷につたわるアイヌ工芸品の認知度を高めることから、枚数を競うのではなく、収集を楽しんでもらうような仕掛けとすることが必要であると考えられる。

次年度は二風谷アイヌ民具コレクションカードの種類を増加（4種類程度）を図っていきたい。更なる二風谷アイヌ文化に伝わる民具を知っていただくことにより、より興味を持っていただくとともに、配布場所を町内のみならず、道内又は道外でのアイヌ商品関連の物販時等にも配布することによる、多くの方へアイヌ工芸品への興味を持っていただく仕組みとすることも必要である。

3) 平取町観光 PR 事業

事業効果

今年度はコロナウイルスが5類へ引き下げられ、観光客も以前のように旅行をはじめ各地賑わいを見せた。各種イベントも通常開催となり人数制限等の規制もなくなり例年通り の出展スタイルにて、様々な町外イベントに出店することが出来た。

今年度は旅行雑誌「北海道じゃらん(全国版)」へ掲載などを実施することで、長期的な観光 PR 効果に期待している。

食のイベントに関しては、例年実施していることから全道的に「びらとり和牛」の美味しさが広がっており、以前は「平取町の食材を当町には来られない方に食していただき、これを機会に足を運んでもらえるキッカケ」として実施していたが、それ以外にも「食べて美味しさがわかったので友人を連れて」などの輪が広がりにつつある。

物販 PR では道外では出向くことで「びらとり和牛」や「びらとりトマト」の魅力の発信とともに、依然として道外では低い認知度を徐々に増加させることに繋がっている。アイヌ文化と連携することで、その効果は何倍にもなり経済効果及び費用対効果をもたらしていると考えられる。道内は購買だけではなく、同時にふるさと納税パンフレットや当協会協の作成している食と土産のパンフレットを配布することで、より当町に興味をもってもらい来町するキッカケの仕組みとしている。

旅行雑誌への掲載や「ツーリズム EXPO ジャパン」への出展に伴って、まだまだ知られていない北海道の魅力発信することで、道内旅行先への旅前情報として継続していくことは重要と捉えている。

観光は景観も重要であるが「食」のコンテンツは極めて重要なキーワードであり、旅行者は「食」をメインとする旅行形態になっている。それをキッカケに体験や宿泊と繋がり、地域の経済効果へと繋がり町内への循環へとなる。食すこと、触れる事がキッカケで「今度は平取町を訪れたい」という話す方もいた。その一方で、依然として道外での認知度は低く、「名前も場所も知らない」と現場にいる私たちは良く耳にする。本事業を継続的に実施することで、情報の拡散だけではなく、実際の来訪にもつながることを実感した。一人でも多くの方に食を活かしたイベントへの出展から、誘客へ繋がっていくことが重要であると考えられる。

4) 北海道観光振興機構補助事業

「日本一の群生地！すずらんツーリズム推進事業」【継続事業2年目】

観光入込数の減少と、「すずらん」による観光客数の低水位での横ばい状態にあることから、「すずらん」をテーマとしブランディングし認知度を向上させた観光地づくり「すずらんツーリズム」を推進させることにより、来訪者を増やし地域経済効果を高めていく事業を実施した。

事業内容

① 観光ルート開発数1コース作成及びモニターツアー実施

1泊2日：11月26日～27日（6名参加）

② すずらん体験メニュー開発

「すずらん木彫コースター製作体験」「すずらんアクセサリ製作体験」

「すずらん Tourism 特別アイヌ工芸ガイド」

その他、昨年作成の既存メニューのブラッシュアップ

③ 特産品開発

「すずらんレターセット」「小樽ガラス工房とのコラボ商品の開発」

「酒粕スイーツ」ほか

④ パンフレット及びWEBアンケートの作成

パンフレット数：500枚

アンケート回収：284枚

等

事業効果

前年同様、事業の開始時期が、すずらんの開花時期ではなかったため本来の可憐なすずらんを見て頂くことは出来なかった。

すずらんだけでは弱いのではという昨年度のアンケート分析から今年度行ったアイヌ文化とのコラボの非常に評判がよく多文化を絡めた体験の進め方に間違いが無いことを確認出来た。

着地型のモニターツアーという初めての試みで、観光協会がガイドをしながら帯同したが、参加者から頂いた意見をフィードバックして、いかに着地型用の観光ガイドや小冊子の配置に活かしていくかが重要であると考えている。

今回、開発した特産品を開発準備しているECショップにて展開するとともに、自走化のためにPR方法の選択、ECショップ以外の販売ルートの開拓などに取り組んでいかななくてはならない。

(6) 地域貢献事業（新入学児童への記念品贈呈）

全町4小学校 32名、平取養護学校入学（小・中・高） 28名

(7) 観光アンケート事業の実施

平取町知ってよ！キャンペーン！！の実施

アンケート期間：令和6年7月1日（土）～9月30日（土）

アンケート数：385件

ページビュー数：831view

(8) 各種ツアー事業の実施協力

- 1) アドベンチャートラベル【プレサミット】
- 2) インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業
- 3) ウポポイ・平取地域アイヌ文化体験交流事業

(9) その他

能登半島地震に対する義援金（物販の売上の一部を寄付）